

教科用図書採択参考資料綴り

教科名 社会 (歴史)

調 査 研 究 報 告 書

(小委員会名：社会 歴史的分野)

1 調査研究の経過・内容	<p><input type="checkbox"/> 6月27日(木) 第1回釧路市・釧路町合同教科用図書調査委員会 第1回社会歴史的分野小委員会 ・小委員会員の確認・調査研究日程の確認並びに内容・役割分担の確定</p> <p><input type="checkbox"/> 6月28日(金)～7月8日(月) ・各自、各教科書についての調査・研究</p> <p><input type="checkbox"/> 7月9日(火) 第2回社会歴史的分野小委員会 ・調査内容の交流</p> <p><input type="checkbox"/> 7月10日(水)～7月23日(火) ・各自、各教科書についての調査・研究</p> <p><input type="checkbox"/> 7月24日(水) 第3回社会歴史的分野小委員会 ・調査内容の交流 ・各教科書の内容・構成・使用上の配慮事項等に関わる意見交換</p> <p><input type="checkbox"/> 7月25日(木) ・報告書作成・提出</p> <p>※協議内容は別紙(様式4)</p>
2 調査研究の具体的資料	<p>1 教科書編修趣意書</p> <p>2 採択参考資料</p> <p>3 学習指導要領解説</p>
3 少数意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出版社が変更されると教員の授業準備にかかる時間が増加するので、配慮が必要。 ・ 現在、地理的分野・歴史的分野・公民的分野の3分野とも教科書会社は同じになっている。「3分野とも同じ会社の方が生徒は学習に取り組みやすい」といった意見、「分野ごとに会社が変わっても教える内容を教師がしっかりと把握していれば、生徒は意欲的に授業に取り組むことはできる」といった意見が出された。

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年 第1学年 第2学年 第3学年	教科書の記号・番号 歴史的分野・002-72	教科書名 新編 新しい教科書 歴史
取扱内容 (学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等)、内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化財、出来事に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、新潟や広島の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや問いを設定した調査・考察から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代の律令国家の成立に着目して、貴族と庶民の生活に相違が出た理由を考察したり、単元のまとめでは「古代の日本ではどのように国家が形成されたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代の文化や宗教の特色に着目して、浄土宗と時宗を信仰する人たちを比較し違いを考察したり、単元のまとめでは「武士の支配が広がり社会はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の政治の特色に着目して、田沼意次と松平定信の政策を比較し違いを考察したり、単元のまとめでは「近世の日本では社会にどのような変化が見られたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の諸改革の目的に着目して、アイヌの人々と琉球の人々への対応の共通点を考察したり、単元のまとめでは「近代化で日本はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、戦後の国民生活と政治の展開の変化に着目して、日本復興を象徴する出来事を考察したり、単元のまとめでは「戦後の日本は何をきっかけに成長したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、近世の社会の様子や学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、屏風絵等の複数の資料を比較し、時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史へのとびら」において、歴史の学び方について学習した後、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江戸時代の最上徳内、近藤重蔵、間宮林蔵らの北方探検の地図を掲載して、その行程を紹介したり(全学年)、「アイヌ文化とその継承」として、儀式や生活の様子などの資料を掲載して、アイヌ文化の成立と展開、口承文学の記録化などを例にアイヌ文化継承の動きを説明したり(全学年)するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「チェック&トライ」で一単位時間の学習の最後に振り返る活動(全学年)や、「みんなでチャレンジ」で他者の意見を取り入れ、自分の意見を調整する活動(全学年)を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり(全学年)、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する(全学年)など、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 (学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等)、内容の構成・排列	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	歴史・017-72	中学社会歴史 未来をひらく
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物や文化財、できごとなどに着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、年号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、鎌倉や北海道の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法や発表方法を示した地域調査の手引きから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、飛鳥時代の律令国家の成立に着目して、大化の改新をきっかけに国家のしくみはどのように変わったのかを考察したり、単元のまとめでは「国はどのように生まれたのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代の文化の変化に着目して、社会の変化との結び付きを考察したり、単元のまとめでは「武士と民衆の成長によって、社会はどのように変化したのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代の国際関係に着目して、鎖国のもとでの世界との結び付きを考察したり、単元のまとめでは「近世の日本はどのような政治のしくみをつくったのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の政策に着目して、アイヌ民族や琉球の人たちへの影響を考察したり、単元のまとめでは「近代の日本では政治・社会・文化はどのように変化したのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、国際社会での我が国の役割に着目して、平和な世界を築く取組を考察したり、単元のまとめでは「戦後、日本は世界とどう関わり、社会をどう変化させたのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、中世の日本と世界の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、絵巻物を中心に複数の資料を比較し、人々の生活の様子について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方・調べ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 (学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等)、内容の構成・排列	46・帝国	第1学年 第2学年 第3学年	歴史的分野・046-72	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、大阪や神戸の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや課題を設定した調査から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、古墳時代の日本列島における国家形成に着目して、前方後円墳の役割を考察したり、単元のまとめでは「古代の社会にはどのような特色があったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代の武家政権の成立に着目して、貴族と比較して武士の暮らしの特徴を考察したり、単元のまとめでは「武士による政治で社会がどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代の人々の考えや幕府の方針に着目して、江戸時代の政治や社会の特色を考察したり、単元のまとめでは「全国を統一する政権の誕生で社会がどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治維新と近代国家の形成に着目して、明治政府の国づくりの進め方を考察したり、単元のまとめでは「近代国家の建設を目指し社会はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本の経済の発展に着目して、高度経済成長、東京オリンピックの意義を考察したり、単元のまとめでは「戦後の日本社会はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、江戸時代の町人文化の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、イラスト等の複数の資料を基に江戸の人々の暮らしについて話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方と調べ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年 第1学年 第2学年 第3学年	教科書の記号・番号 歴史・081-72	教科書名 中学歴史日本と世界 改訂版
列 取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）、内容の構成・排	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史を大きく変えた人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、考古学や政治、社会、年号による時代区分についてのまとめや、年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、奈良や広島の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法やレポートの作成方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、平安時代の東アジアとの交流に着目して、文化の国風化を考察したり、単元のまとめでは「平安時代になると、社会はどのように変化したのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代の武家政治の展開に着目して、幕府の仕組みや守護の役割の変化を考察したり、単元のまとめでは「宗教の果たした役割を考えてみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代の対外関係に着目して、経済的な発展や文化の形成を考察したり、単元のまとめでは「社会や経済の変化に対して、幕府はどのように対応したのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と国際関係」において、明治政府の外交の展開に着目して、国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「明治政府はどのような近代国家をつくろうとしたのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本国憲法と日本の民主化に着目して、国際関係の変化と日本の外交を考察したり、単元のまとめでは「冷戦下の世界で起こった戦争の特徴は何だろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、日露戦争と東アジアの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風刺画や地図などの様々な資料を基に日露戦争が与えた影響について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史との対話」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江戸時代の最上徳内、近藤重蔵、間宮林蔵らの北方調査の地図を掲載して、なぜ北方の調査が必要とされたか考える課題を位置付けたり(全学年)、「アイヌ民族の歴史と文化について、アイヌ民族の首長やイオマンテの様子を描いた絵を掲載して、特徴を示したり(全学年)するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「ステップアップ」で一単位時間の学習内容を踏まえた発展的な学習活動(全学年)や、「歴史を考えよう」で学んだことを基に話し合い、考察する活動(全学年)を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり(全学年)、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する(全学年)など、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年 第1学年 第2学年 第3学年	教科書の記号・番号 歴史的分野・116-72	教科書名 中学社会 歴史的分野
取扱内容 (学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等)、内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物や文化財、ことがらに着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、小樽や白老の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや課題を設定した調査・考察から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代の律令国家の成立に着目して、政治や文化の特色を考察したり、単元のまとめでは「日本という国はどのように生まれ、発達していったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉幕府の成立やユーラシア大陸からの影響に着目して、社会の変化を考察したり、単元のまとめでは「たえず戦乱がくり返される時代となったのはなぜか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の政策や社会の変化に着目して、政治改革が成功しなかった理由を考察したり、単元のまとめでは「戦乱のない安定した時代は、どのように続いたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、江戸時代の幕藩体制とのちがいに着目して、明治政府の政策の目的を考察したり、単元のまとめでは「近代化の特色は、どのような点にあらわれているか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、経済大国日本と外国の関係に着目して、世界に与えた影響を考察したり、単元のまとめでは「戦後日本は平和で民主的な社会、豊かな暮らしをどう追求したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、日本の産業革命の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、地図やグラフなどの複数の資料を基に、社会や人々の生活がどのように変化について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「私たちと歴史」において、歴史の学び方について学習した後、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北方領土に関する条約や国境の変化の地図、写真などの資料を掲載して、第二次世界大戦後の日本の取組を説明したり(全学年)、アイヌ文化について、儀式や神話、国立アイヌ民族博物館などの資料を掲載して、アイヌ文化の伝承について説明したり(全学年)するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「確認」で一単位時間の学習の理解を確認する活動(全学年)や、「学び合い」で話し合いなどの対話的な活動(全学年)を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の構成と学び方について説明するページを設けたり(全学年)、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する(全学年)など、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年 第1学年 第2学年 第3学年	教科書の記号・番号 歴史的分野・225-72	教科書名 新しい歴史教科書
取扱内容 (学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等)、内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校の歴史学習で学んだ人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や元号、世紀、干支、暦、時代区分などの資料から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、長崎の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や考察したことから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、聖徳太子の政治に着目して、聖徳太子が新しい政治を始める背景を考察したり、単元のまとめでは「古代とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代の武士の政権の特徴に着目して、将軍と武士の主従関係を考察したり、単元のまとめでは「中世とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代の産業に着目して、農業・産業・交通はどのように発達したのかを考察したり、単元のまとめでは「近世とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治期の学問・教育・科学・芸術の発展に着目して、どのように西洋文化を取り入れたのかを考察したり、単元のまとめでは「近代前半(幕末・明治)とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、21世紀の日本の進路に着目して、現代の国際情勢の中で日本の進むべき道はどうあるべきかを考察したり、単元のまとめでは「現代とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、二つの世界大戦と日本の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、二つの世界大戦の共通点と違いについて話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方」において、歴史の学び方について学習した後、時代区分毎に時代の特徴や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江戸幕府から蝦夷地(北海道)の測量を命じられた伊能忠敬の地図と現在の日本地図を比較して紹介したり(全学年)、アイヌの人々の文化や生活について、イヨマンテなどの祭りや音楽、サケ、コンブ、毛皮などの交易の様子、アイヌ文化の保存・振興の取り組みを説明したりする(全学年)など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 本文の記述を深め、歴史の見方のヒントを与える読み物(全学年)や、「チャレンジ」で単元を学習したあと挑戦したいワンポイントの課題を掲載する(全学年)など、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり(全学年)、全ての生徒が学習しやすいよう、レイアウトの統一に配慮したり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、ICTの活用例を掲載する(全学年)など、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年 第1学年 第2学年 第3学年	教科書の記号・番号 歴史的分野・236-73	教科書名 国史教科書 第7版
取扱内容 (学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等)、内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化財に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、元号や西暦、世紀、干支、時代区分から年代や時代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、鶴岡八幡宮の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や発表の方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、古墳時代における国家形成に着目して、同じ形の前方後円墳が点在する意味を考察したり、単元のまとめでは原始と古代の違いを考えようという主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、南北朝の争乱と室町幕府に着目して、足利尊氏が建武政権から離反した理由を考察したり、単元のまとめでは「鎌倉時代の新しい仏教を分類してみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、織田・豊臣による統一事業に着目して、豊臣秀吉が天皇を聚楽第に招いた理由を考察したり、単元のまとめでは「世界の植民地競争に巻き込まれた激動の時代を調べよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、日本の産業革命に着目して、人口分布の変化から原因を考察したり、単元のまとめでは「明治維新による近代化と弊害について調べ考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本の経済の発展に着目して、戦後の復興を果たすための国民の努力を考察したり、単元のまとめでは「歴史について議論し協力して結論を導こう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、明治維新の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、明治維新による近代化のさまざまな側面について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「国史を学ぶにあたって」において歴史の学び方を学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「鎖国下の対外窓口」の中でアイヌの人々の儀式の様子を伝える資料を掲載したり、和人との交易について紹介したり(全学年)、江戸時代における幕府の対外政策と対外関係の学習において、ロシアのラクスマンによる根室への来航について説明したり(全学年)するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「歴史カードを作ってみよう」で小学校で学んだ人物について調べる活動(全学年)や、「グループで歴史を調べよう」でテーマを決めて調べる活動(全学年)を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり(全学年)、巻末資料として全ての生徒が学習しやすいよう、カラー印刷の「巻末口絵」や「日本美術図鑑」を掲載したり(全学年)するとともに、政権担当者・出来事対照表を掲載する(全学年)など、使用上の便宜が図られている。 			
その他				

様式 4

調査研究に係る協議・調査内容

社会 歴史的分野小委員会

番号	協議題	協議・調査内容
1	<ul style="list-style-type: none"> 取扱内容について 	<ul style="list-style-type: none"> 教育基本法や中学校学習指導要領を全者とも踏まえ、適切な内容で編集されている。 全者とも、歴史的分野の目標を達成することができるような学習活動が取り上げられている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 内容の構成、排列について 	<ul style="list-style-type: none"> 全者とも各章の始めに学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 全者とも時代区分ごとに時代の特徴や歴史の流れについて学習するなど、系統的、発展的に学習できるように工夫されている。 発行者によっては「主体的に学習に取り組む」工夫が不足している。
3	<ul style="list-style-type: none"> 使用上の配慮等について 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの発行者で文字の大きさや字体、グラフなどの配色にユニバーサルデザインを取り入れ、インクルーシブ教育に対応したものとなっている。 多くの発行者で2次元コードを掲載するなど、一人一台端末を活用した学習活動を行えるように工夫されている。 全者ともに生徒の学習意欲を高めるため、北海道に関する歴史的事象が取り上げられている。

※ 1つの教科・領域で2～5の協議題、協議・調査内容を記載してください。